明治四十一年六月十一日

京城新報

●新聞紙　金附五錢　●三十日分　●月額金壹圓　●郵稅一ケ月金拾錢　●五號活字十九字詰一行金三十錢　●四號活字十四字詰一行金四十五錢
●廣告料　一回金三十錢　●四號活字十四字詰一行金四十五錢
●發行兼編輯人　秋山忠三郎
●印刷人　京城西門通　京城新報社
●發行所　京城新報社　東京八三番
●發行　五月十二日

●新聞紙の嚆矢

（瀧興治氏談）

抑も今日歐米各國に行はるゝ新聞紙は其の由來する所極めて遠くして之が起原遡に沿革に關する諸說又一ならず、今信據すべき書籍に就て之を調査するに近代の歐州大陸に於て最も古き新聞紙として稱せらるゝは西暦一千五百六十四年（我朝の正親町天皇永祿七年）伊太利のヴェニス共和政府に於て土耳其を戰端を開きし際其の戰況を報ずる爲め毎月一回の新聞紙を發刊し之を偏く國內に頒布したることありしが是れ蓋し新聞紙の嚆矢ならむか、而して當時は活版印刷事業の未だ幼稚なりしを以て其の發行せる新聞紙は皆な悉く筆寫したるものなりといふ而して彼の印刷したる新聞紙の起因に就ては西暦千五百八十八年（我朝の天正十六年）英國エリサベス女皇の朝時の宰相ウエリヤム、バーレーの創刊に係るの一說あり其の根據とする所は當時の新聞紙標本なりとて現今英國の古代博物館に保存せらるゝ其の第五十一號及第五十四號の三新聞にして此の說に從へば英國が曾て隣邦西班牙との戰爭の際英相バーレンは自國防備の爲め其の戰況を細さに國內に報道して國民の愛國心に訴へ以て國民の敵愾心を鼓舞激發せんを欲し新聞發行の計劃を立て之をエングリッシ、マーキュリーと題し、バーレン自ら筆を執りて國事を論講したりといへり然れども此說たる其の後幾多の考察に依り其の根據たる博物館に現存する三葉の新聞紙はエリサベス時代の遺物にあらずして全く後人の手に成りたる僞造物たること判明したれば此說今は全然其の根據を失ふに至りぬ、

果して然らば印刷せられし新聞紙の始めて發行せられたるは何れの時代なるか、則ち西暦千六百二十二年（我朝の元和八年）英國天主教會の牧師ニコラス、ボーレンなる者、佛國、伊國、日耳曼、西班牙及び和蘭其の他諸國より新に達する珍奇なる報道を蒐集記載するの目的を以て、ゼ、クイクリーニュース、ソローム、イタリー、ジャーマニー、エトセトラと題する週刊新聞を倫敦に於て發行したりしが是れ所謂一般印刷したる新聞紙の雛型なる嚆矢にして又一般歐洲に行はるゝ公說なり而して又英國の新聞紙が國會場の光景及議員の討論等を掲載するに至りしは一千六百四十一年（我國の寛永八年）なり又廣告を掲載するに至り三十一日海州郡內を捜索し賊一を殺す

●暴徒討伐情報

△咸興より出したる討伐隊は六月二日咸興を發し黃海道に向ひ出發したるが其の第十九を殺し火繩銃十四を獲たり△忠淸北道濟州分遣所の報に依れば其の他若干品を鹵獲す△忠淸北道濟州分遣所が、やがて敏男の顏を瞻仰げ。

「ねゑ貴方、兄の辭では當國と戰爭が必ず始まるやうに申して居ましたが、眞個ですか。」

「まだ確にそれと極つた理ではないが、先づ十中の八九迄は、始まるだらうと思ふ。」

「戰爭が始まつても、貴方御出征なさるやうな事は無いでせうね。」

「何故？」

「でも、參謀官で本部詰でいらつしやるもの。」

「いくら參謀官だつて、戰爭が始まれば奈何致動するか知れないよ。」

「ですけれど先づ大抵は大丈夫ですわねえ。」

「若し私が戰爭にでも出るやうになつたら、百合さん奈何する意だ。」

「私然うなりましたら、一緒に連て行つて戴きますわ。」

「何處へ？」

「戰爭へ。」

「百合さんをかへ？」

「はゐ。」

「冗談じやない、何程可愛い女だつて、自分の妻を戰場に連て行くんだ。」

「だつて文明國では、皆な連て行くものぢやありませんか。」

「いくら文明國で連て行つても、日本の軍人は然う云ふ理には行かない、私は可愛い百合さんの事だから連て行くとしても、眞に許さんから爲方がない。」

「本當に可厭な軍規ですね、許して下だつて宜さうなもんですわ。」

「若し戰爭が始まつて行くやうな事にでもなつたら百合さんはどうぞ阿母さんと一緒に仲能く留守を爲て居て下さい。」

「それは致しますけれど。」

と、言淀んだ。

「けれど可厭か、はゝゝゝ。」

百合子も微笑を浮べ、

「可厭ぢやございませんけれど、何だか心細うございますわ。」

「けれども軍人の妻は、その夫が戰場の露となる事は、豫め覺悟爲て居るものなんだから、百合さんなんかもその決心で居て下れなきや不可ないよ。」

「うりや私だつて西陽の娘です、能く承知して居ます、居ますけれども眞個戰爭は可厭ですよ。」

と、何だか斯う、先刻の活々した樣子は影を隱して、非常に心細さうな顏色で、何事か一種の惑感に襲はれた樣子である、かくと見て取つた敏男は、殊更哄々と高く笑ひながら、

「こんな話を爲てると、もう戰爭でも始まるか知れないに。」

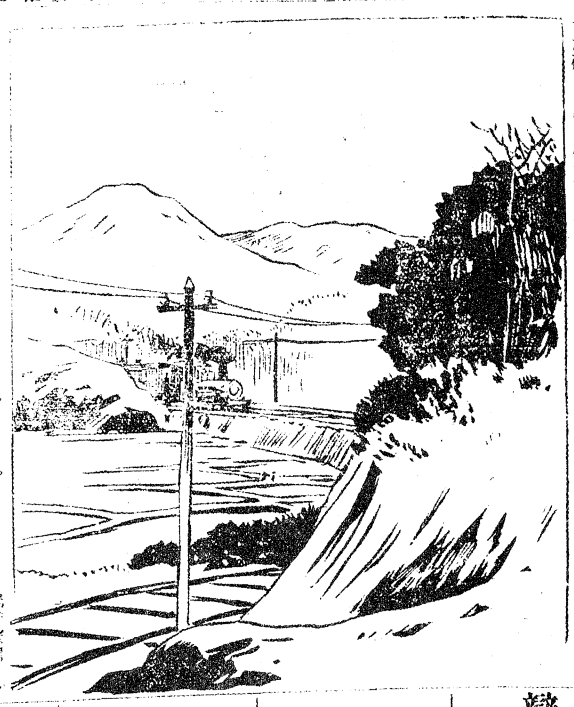
「はゝゝゝ始まるかもしれないよ。」

努めて百合子の心を快に導かうとしたが、果して此辭は非常に効驗があつて、百合子も道理と思つたか、莞爾と笑ひを催ふした。

時候が樂しく語らう間に、日は何時しか海の彼際に落ちて、薄ら寒い濱風が何方からともなく吹き渡つて來た。

敏男は思の出した如く、百合子の手を取つて元來た道を徐々やがて招魂閣に歸つた。

そしてその翌々日の夕方、樂み多き新婚旅行を了へて無事に東京に歸つたのである。



小說　新不如歸（三十三）

篠原嶺葉著

募集廣告
韓語通譯一名
飜譯生一名
但し十五歲以上三十歲以下の韓人
右募集候に付希望者は至急來談ありたし
京城本町一丁目
小川法律事務所
電話四一番

▲京城辯護士案內▼

辯護士　木尾虎之助
事務所　京城元博覽會表門通り　學洞六十四統二戶

明治町二丁目七十五番戶
佛國領會表門前
辯護士　元判事　法律學士　岩田仙宗
電話三五四番

辯護士　藤井太郎
本宅・京城東大門外玄陵運別莊
事務所・京城旭町三丁目

辯護士　明法學士　前代議士　高橋章之助
事務所　銅峴三十三統五戶（明治町突當）
本宅　京城本町五丁目　電話二五六　電話二二四（長距離）

辯護士　莊子斌
京城旭町一丁目
（電話四七五）

辯護士　皆川廣濟
京城南山町一丁目山手
（電話八五七番）

京城旭町三丁目
永井法律事務所
（電話二三八）
辨護士　永井道忠
辨護士　白井勝悟

夏衣大賣出し
六月八日ヨリ十五日マテ
正價より一割引
吳服和洋反物
太物蚊帳蒲團
京城郵便局前
秋山商店
（電話九四六番）

梅干薑紫蘇卷
時鳥卷八千代卷漬物類卸大販賣
今般左記製造元と特約致し善良佳味の品を低廉に販賣可仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉希上候也
製造元　小田原漬物會社
明治町一丁目
漬物清酒味噌醬油商
西西山商店

●寶丹は原「コレラ病」の豫防藥として發賣せし良劑にして●中暑●霍亂●痢疾●吐瀉症●中毒●心腹痛其他の諸症に大効を奏し普く世人の賞用せらるゝところ今また左の如く新たなる効驗は發見せられたりに付日本體育會より御信書の附言

御專賣の寶丹は殺菌力強く且つ細胞の活動を喚起す肺病の豫防にも適劑なるの効あるを以て確め候間乍序申添候云々

故に寶丹は軍隊・學校・集會・宴席・寄席等は勿論家庭衛生の常備藥として缺べからざる良劑也

●木年四月十五日より寶丹御愛用諸君の御便利を圖り定價金參拾錢器以上に限り美術優雅の匙を相添へ差上候間何卒一層の御愛顧偏に奉希上候

東京池之端仲町貳拾七號所有地
寶丹本舗　守田治兵衛謹告

夏物大賣出し
六月七日より向ふ一週間
今般最新流行夏衣種々取揃大賣出し仕候間何卒賑々敷御來光の榮を賜はらんことを
追て多年の御厚情に酬んため正札より一割引の事其他見切太物澤山大安値にて差上申候
京城本町三丁目
和大曲吳服店
（電話日一一五番）

(二)　(第三種郵便物認可)　明治四十一年六月十一日　京城新報　(木曜日)　第四百六十六号

京城動報

鴉片喫吸の防遏

鴉片害毒の恐るべきは何人も知る所なり、一度之を喫吸して睡眠の快を覺ゆるものは毒と知りつゝ禁ずる能はず、從て其傳播力の猛勢なる驚く可き者あり、清國政府の鴉片問題に窮窘するや既に久し、今に之を退治し得ざるのみならず、猛々傳播せんとす少なかりしが、曩近朝に喫吸者增加し、其害毒を受るもの頻々たり、從來と雖も鴉綠江附近より平壤には間々喫吸するものありしも極て少數なりき、然るに近來は駸々として增加し、管北韓地方のみならず、全國に亘りて傳播し京城の如きは非常の速度を以て增加せり、恐るべき害毒を受けて病み且つ死するもの連續せりと聞く、是れ決して等閑に付すべきものならんや、鴉片の毒に當るものは漸次に身体衰弱し勞働に堪へざるに至り、其强烈なるは直に死するに至る、之れ余輩の言ふまでもなく何人も知る所なり、支那人の如き勤勉なる種族と雖も鴉片喫吸の爲には大なる生産力を減退す、韓人の如き遊惰放逸の民は更に生産力を減ずべし、由來韓人は憂鬱怠惰にして眠を貪るの僻あり、其惡僻ある處に更に鴉片を以てする恰も燃る薪に油を注ぐが如し、渠等が喜で之を迎るも當然ならずや、渠等が唯一の快樂は陰氣なる溫突内に酒色を擅にすることなり　渠等が此快樂を續る精力涵養の爲に人參其他の藥を盛に用るは世の知る所なり、斯くして此快樂を貪れば眠る身体の衰弱せざらむとするも得可けんや、然るに新に鴉片睡眠の快を覺ゆる渠等に適當の快樂劑なり、其傳播の激甚なる敢て怪ひを要せんや、さなきだに遊惰放慢にして生産力少く之が爲に亡國と悲觀するもの多し、鴉片問題の忽にすべからざるは之が爲なり、人道の上より論ずるも之が防遏は急要の問題ならずや、此防遏禁止の問題に就ては當局者に於て既に方法を講ぜられしならむ、殊に人道を尊ちとせらるゝ統監あり、到底輕々に看過せられざるや知るべきのみ、唯余輩は未だ之が實行を見ざるを憾とするものなり、惟ふに支那人の至る所此害毒の必ず伴ふ米國に新嘉坡に比律賓に何れも其土人に傳播せしむる各國の政府は極力之を防遏するも容易に根絶せず、韓國の如きも支那のジャンクにより密輸入さるゝ也、先づ之が取締を嚴重にすること肝要なり、一方に於ては能く鴉片害毒の恐るべき事を知らしむるを要す各學校に於て職員をして生徒に向つて之を說明せしむる如きも可なり、其他種々の方法あらん、余輩は當局者に於て其方案の既に成れることを信ず、之れ當局者として成案あるべき筈なればなり、余輩は唯だ實行を速にせんことを促すのみ、

●漢城便り

▲伊藤公が韓人に對する三年の總き正にさめ際に近づき候樣相見え申候元々憑ならざる公のこと故何時か此事あるべしとは記者の豫期せしところに有之候併し今となりて遅し遅しと御座候さりとて全然覺めざるよりは幾分か增しならんと被存候

▲地方官大淘汰は慥に必要に御座候併し韓人に代ふるに韓人を以てす其結果蓋し同樣ならんと被存候任命の手續方法を變更したればとて韓人の特性は變じ得らるゝものには無之と被存候

▲記者は本紙に於て邦人觀察使任命の議を屢提唱致候今は乃ち實行の機に有之候サン詰地方行政の長官たらしむべきものは理事官ならんと存候此は他の保護國に於ても追々例の有ること之に有之候

▲第一銀行劵の改造は何の必要によりて爲されたるやは記者の知らんと欲するところに有之候澁澤男の肯像が流通上何の邪魔にもならざりしことは記者の認むるところに有之候

▲或人曰く一銀劵の改造は韓本主義の崇りたるものなりと果して而らば喞々怪事と存候一銀にして緊褌一番するなくんば發行樣にまで崇りの來ることもなからずやわと憂慮被致候

▲商業會議所議員の半數改選も近きにありとの事に御座候此機を以て記者は特別議員創設の事を提言致候統監府地方部長鐵道運輸部長逓信官局長各銀行の支配人など特別議員と爲すは會議所の働上慥に有効ならんと被存候

東京電報

▲選擧運動費

政友會本部の調査に係る撰擧運動費は一人平均七千圓なりと(十日發)

▲樞密院會議

本日樞密院會議を開き帝國大學事務官特別任用令に關する件及び臺灣總督府官制革正の件を可決せり(十日發)

雜報

●韓皇の五宮展拜

韓皇には皇后と同乘し昨日午前十一時十分敦化門出御既記の如く毓祥宮、延祐宮、寶籙宮、景祐宮の五宮を順次御展拜あらせられ午後四時三十分無事還御あらせられたり廟簿は例の如く公式にて各大臣大官供奉し儀仗騎兵及び巡査等前後を警衛し奉り沿道は例の通り警戒最も嚴重なりし

●法官會議

新設裁判所幹部即ち院長、檢事總長、所長、檢事長の裁判事務に關する打合會を開催せらるべき事は既報の如くなるが愈々本日午前九時より法部樓上に於て開會することゝなり各地方の法官は何れも昨日入京せり

其の任地及び氏名は左の如し但し此等の諸氏は共に今回新任せられたるものにして未だ任地に赴かず日本前任地より來京したるものなり

平壤地方裁判所長　高本直一
海州同　同　西平
公州同　同　勅使河原健之助
平壤控訴院長　同　永島巖
同　檢事長　向井巖
同　判事　岩本以
光州同　同　玉置琢
公州同　檢事長　孝慈實
海州同　同　郷津友彌
光州同　同　岩田友彌
公州同　同　北村五七郎
光州同　同　土井鄰太郎
平壤控訴院長　同　鳥山虎也太
同地方裁判所長　同　黑川穣
同控訴院檢事長　吉田雄六郎
晋州地方裁判所檢事長　鈴木伍三郎
平壤同檢事長　兼重次郎
晋州同　同　關口半
海州同　同　青木幹造
同地方裁判所　同　土井鄰太郎
同　判事　鳥山虎也太
同　檢事　黑川穣
同　判事　吉田雄六郎
公州同　同　鈴木伍三郎
光州同　同　兼重次郎
大邱控訴院長　同　關口半
咸興地方裁判所長　同　青木幹造

以上諸氏の外既に發任せる大審院長同檢事總長以下京城控訴院同地方裁判所の幹部も本會議に出席す

●觀察使交迭に就て

宋秉畯氏の内部大臣となるや地方行政改善の第一着手として觀察使中新知識に乏しく新制度を解せざる者六七名を罷免して新進の士を任用すべき事を明言し同時に觀察使四名辭表を提出すると共に八日の閣議に於て其の後任者及び此の以外二三觀察使の交迭に關し審議したる模樣ありしため今回の交迭は宋氏が内部大臣となりたる後に於て起りし問題なるが如き觀あるも元來此の問題は久しき以前より統監が地方行政改善上其の必要ありと認め居りし處にして當時の任内部大臣も統監の意中を諒としたる爲め總理の心中別に考ふる處ありしもの〻如かりしも偶々觀察使を召集して其の意見を徵したる結果は彌ん交迭の必要ありとするに至り遂に閣議に於て六七名の罷免を決議したるが任氏の内相にては其の後任者選定上統監の意中を容易く決行せしむる上に多少の障害あり而して宋氏は曩の閣議に於て觀察使六七名の罷免を決したるに對し多大の不平ありて統監部に於ける觀察使會議の席上の如き宋氏は觀察使の能力に關し日本語を以て憚り無く批評し罵倒したる程にて當時宋氏が如何に心中の平かならざりしかを知るに足る故に宋氏の此の不平と任氏の内相との不一致の結果は大官交迭の一原因をなしたるものと觀る事を得べく後任觀察使の人選に關しては宋氏の意見に俟つ事大なるべきも現任者の罷免に關しては宋氏内相ともに既に決せられ居りしものなり因みに今回辭表を提出したる四觀察使中咸鏡北道の尹甲炳氏は留任する事となりたる筈なり

●刑法改正案審議結了

新任任京法官及び法部の主幹部諸氏により審議中なりし現行刑法改正案は既に審議を了りたるを以て遠からず内閣會議に付し統監の承諾を經たる上曩に審議濟となれる案は當局者に於て其方案の成案あるべき筈なればなり、余輩は唯だ實行を速にせんことを促すのみ、

●觀察使の落成式

象て建築中なりしも同醫院は既に落成せしを以て近々落成式を擧行する由なり當日は韓皇帝にも臨御あらせらるべしと云ふ

●李學相の送別

李學部大臣は今回代議士となりて學部書記官を辭したる三土氏及び外國語學校教師を辭したる英國人ハリハツクス氏の送別を兼ね目下學事視察のため來京中なる韓國留學生教育に功勞ありし勝浦東京府立第一中學校長を本日夜日本人倶樂部に招き晩餐會を催す

●地方警察官の免官

豫て報導し置きたる地方警察官の依願免官中今回左の通り發表せらる

元山警察署詰
永興同　警部　荻野直十郎
忠興同　同　石川與一郎
平壤同　同　野口邊茂
春川同　同　池田五郎
海州同　同　橋上九内
成興同　同　白木與
錦山警察分署詰　同　橋詰退藏
(以上十九日附)　同　岡崎豐次
(六日消)

●釜山人士の北韓視察

釜山に於ける官民有志は先頃釜藤大佐旅順會席上に於て同大佐の談話に刺戟されて遂に有志家の間に北韓視察隊を組織して親しく同地方を踏査する筈にて不日出發する由時は漸く夏季に入りて旅行する者漸く多からんとする時此の如き旅行隊の組織さるゝは喜ばしと云ふべきなり

公人私人

△白井巖(平壤控訴院檢事長)　一昨日來京
△天眞樓(同控訴院長)　同上
△永島巖(同控訴院長)　同上
△鄕津友彌(咸興地方裁判所檢事長)　同上
△兼重次郎(平壤同上)　同上
△鳥山虎也太(大邱地方裁判所長)　同上巴城館
△北村五七郎(光州地方裁判所檢事長)同上
△玉置琢(同所長)　同上
△吉田雄六郎(大邱地方裁判所檢事長)　同上
△關口半(晋州地方裁判所檢事長)　同上
△土井鄰太郎(大邱控訴院長)　同上
△岩田孝慈(公州地方裁判所檢事長)　天眞樓
△松浦茂作(陸軍三等主計)　一昨日金澤旅館
△木下重松(釜山稅關港務官)　上京中なり
△河野正次郎(二銀安東縣出張所主任)　釜山へ向へり
△水道給水期　京城水道會社の經營になる城内の水道は目下鐵管の補除中なるが給水開始期は來る七月一日の豫定なりと

訴訟手續法と共に發布せらるべしと云ふ

●次官交迭說に就て

今回の大臣交迭の結果次官中二三の交迭あるべしとの說をなすものあるも元來今回の大臣交迭は此れを大臣側より觀る時は李完用氏の大臣交迭は此れを大臣側より觀る時は李完用氏の商習慣上未だ此の問題に對し適當の措置方法の研究されたるなく充分の解決を見る能はざるは最も遺憾の事と云ふべし就中本島の如きは領臺後僅々十餘年未だ軍政時代の亂雜なる商業の氣風を脫し去らず加ふるに人情風俗の異なりたる內地各鄕郡人の集合なれば主人と使用人との間に於ける關係も內地の夫れに比して甚だしき隔離あり一例を擧くれば解傭廣告の多き店員の不任末社員の失態頻出する所以は上記雇傭關係の缺點に基因したるものなるを疑はず聞く所に依れば臺北の有數なる商店間にて此商業使用人協會を設立し全市の商店及び使用人を網羅して相互の監督を爲し臺北に於ける商業使用人の品性を高ひる爲め修養に重きを置き身上の安固を與へ專心願客の便利を計り業務に忠實ならしむるを目的とし此の奬勵方法として期滿賞與を與へ特に功勞多きものに對しては表彰し又使用者退轉の場合に於ても行爲の證明を爲し前途の利便を計り又使用人の不正行爲放埒なるより解雇の場合に對しては其實情を精査し相當に處分して他を戒飭し專ら雇主と使用人との間に立つて昔日の弊習を一掃せんとするもの〻由

▲豫備金支出裁可　內閣會議の決議を經て上奏裁可を得豫備金中より支出されたる額は千百八十四圓卅七錢法部任用旅費、千四百四十一圓七十一錢度支部缺損補塡金、三千百圓追撥餉米代金、千八百九十圓軍事部官慰勞金、二千七百六十二圓四十七錢臨時軍用及鐵道用地調査會費、七百七十七圓十九錢度支部追撥俸給、二十八萬五千圓警備電話設備費六千二百九十八圓二十七錢、義徒補鎭費一萬四千三十九圓特設巡査隊費四千五百圓臨時機密費等なり

●浦項日本人會の設立

慶尙北道延日郡浦項に於ける日本人は客年中より支出されたる額は千百八十四圓卅七錢法部任用旅費、千四百四十一圓七十一錢度支部缺損補塡金、三千百圓追撥餉米代金、千八百九十圓軍事部官慰勞金、二千七百六十二圓四十七錢臨時軍用及鐵道用地調査會費、七百七十七圓十九錢度支部追撥俸給、二十八萬五千圓警備電話設備費六千二百九十八圓二十七錢、義徒補鎭費一萬四千三十九圓特設巡査隊費四千五百圓臨時機密費等なり

●賊徒討伐情況

△全羅南道憲兵分遣所の憲兵六名は六月二日谷城郡内に於て約七十の賊を討ち其十二を殺し多數を傷け小銃九を鹵獲す△江陵警察分署の巡査二名は同地守備隊の少尉已下十六名と共に五月二十六日江陵南方七里に於て約八十の賊を討ち十九を殺し若干を傷く△平安北道昌城守備隊の兵卒六名は警察官と協力し五月五日朔州郡内に於て約三十の賊を討ち一名を殺し數名を傷く就中他若干の鹵獲品あり△本月北道求禮分遣隊長已下七名巡査一は五月廿八日求禮東南方一里半に於て十數名の賊を討ち其三を殺す△今州守備隊より出したる討伐隊は六月四日全州南方約四里に於て約七十の賊に遭遇せしが賊は直に逃走し討伐隊は之を追撃し遂に賊を討ち廿七を殺す△韓國第一巡査隊は六月五日蔚珍西南五里に於て約七十の賊を討ち廿七を殺す△韓國第一巡査隊は六月五日原州郡内に於て賊一名を捕ふ△大邱警察署の日韓人巡査四名は六月七日大邱郡内に於て賊を殺し銃器三其他若干を鹵獲し翌六日更に一名を捕ふ

●臺灣に於ける商業使用人協會

商業使用人と云ふ事は近頃商業界に取りて最も重要なる問題となり其品性を修養し健康を保護し報酬の程度解雇の機會期間其他總ての上に於て使用人を保護し使用人をして其途に安んぜしむると共に雇入主の利益を保護し顧客の便利を謀り安固にして節制ある家族的關係の下に商家の目的を果さしめ使用人の任務を盡さしめん事は今や商業家に取りて最も緊要の事柄なるべし然れども其事柄たる頗る廣汎にして或は舊慣を打破する事あるべし又は弊風の改善し難きものあるべく今日の商習慣上未だ此の問題に對し適當の措置方法の研究されたるなく充分の解決を見る能はざるは最も遺憾の事と云ふべし就中本島の如きは領臺後僅々十餘年未だ軍政時代の亂雜なる商業の氣風を脫し去らず加ふるに人情風俗の異なりたる內地各鄕郡人の集合なれば主人と使用人との間に於ける關係も內地の夫れに比して甚だしき隔離あり一例を擧くれば解傭廣告の多き店員の不任末社員の失態頻出する所以は上記雇傭關係の缺點に基因したるものなるを疑はず聞く所に依れば臺北の有數なる商店間にて此商業使用人協會を設立し全市の商店及び使用人を網羅して相互の監督を爲し臺北に於ける商業使用人の品性を高ひる爲め修養に重きを置き身上の安固を與へ專心願客の便利を計り業務に忠實ならしむるを目的とし此の奬勵方法として期滿賞與を與へ特に功勞多きものに對しては表彰し又使用者退轉の場合に於ても行爲の證明を爲し前途の利便を計り又使用人の不正行爲放埒なるより解雇の場合に對しては其實情を精査し相當に處分して他を戒飭し專ら雇主と使用人との間に立つて昔日の弊習を一掃せんとするもの〻由

●郡守の新任交迭

全國郡守中目下缺員の儘にあるもの四十九名あり又地方行政改善の必要上觀察使の交迭と共に交迭すべき郡守少なからざる趣きにて右兩人共漸次新任或は交迭せらるべしと云ふ

●近事片々

▲宋氏　相亦漢城政界の流行兒となりて彼方此方で評判に上り發譽相半ばす先づ結搆

▲流行物は廢れると昔から極て居る黑紋付の羽織と白のツルメキは滅多に廢らぬ嘿

▲敢て宋君を衣類に譬る譯ではムらぬが君は酷く今流行せる縞のツルメキ位か知らん

▲併し意氣組は中々豪氣なる者だ地五行政の改革は暫く間に遣り遂げそうだ器禪賴む

▲是から先が鬼が飛出すか佛が飛び出すか宋君自身も矢張譯るまい請ふ影子に問へ

▲此縣役を宋君に任せて乙う淡し込み居る完用氏が豪ひか其優劣の定るは遠くない

▲宋氏の內相に含む觀察使甚だ多し彼の成り上り者と嘲笑せる連中亦多しとは眞也

▲然るに宋君は意氣昂り先づ地方を巡視せひと云ふ之は能き思ひ付きと是非決行せよ

▲地方巡視は口丈でなゝいか知らむ事實に遣れば些と見上げた男だが早く道り玉へ

▲伊藤公の信認を一手に受けたる如き擧動隨分面白い男だかドーモ山氣が多過る嘿

▲小細工に掛けて韓國隨一だらうと或人が評したが或は然らむ到底大細工は出來ぬ

▲竹鶴、子は十九日東都出發伊公は廿四五日頃當地出發と報する者あり大暗然あらむ

▲鶴原君一世一代として日銀總裁を望みつゝありしが迎も物になりそうもないと云

▲政友會中は頗に鶴原君を推ざしも大勢は之を許さずと嘯や落膽の事と察せらる

▲併し正金頭取の方は多少望みあるに似たり之でも贏ち得れば先づ本望の至なるか

▲田尻子行政整理に就て抱負の有る府縣廳合陸海軍行政組織の變更を爲す必要ありと

▲現今大藏大臣として適任の人を求むれば田尻子は最も好適の人材なり惜むべき也

▲無能の松田如きを藏相に據置かねばならぬとは世の中の事は困つた者程も窮屈也

▲適材を適所に配置し得ざる政治家程無能なるはなし統監府の現狀は夫れ如何ぞや

▲三日學會の演說會大養尾崎高田竹越の四人を招く猿と犬とを一場に集めたる如し

▲配合極く妙鎌田氏も亦惡戲を弄せるかな沼南三人は常に犬猿當ならじ相顧て苦笑

▲米國大統領撰擧ルーズベルト再選熱盛に起る當代の人傑其人氣旺盛なる亦其所也

▲假令再選せざるも氏たるもの亦以て榮なりと云ふべし年尙壯前途洋々海の如し

諷詩林

奈世評

懷柔策盡志難成。韓國前途奈世評。一夜南山殘月暗。統監邸上杜鵑鳴

皆凡骨

極目山川盡暗塵。幾人憂國又憂民。廟堂新進皆凡骨。覇氣僅存宋大臣

（郵便振替口座三千四百三十番）

▲鐵道郵船社員の行賞

各鐵道及郵船會社員に對し論功行賞發表せらる内元京釜鐵道會社員右市公威は勤[illegible]川に於て觀潮所の實測したる結果と昨年五月中仁川に於て觀潮所の實測したる結果と昨年五月中仁川港の[illegible]一等大屋樣平は勤二等足立太郎は勤三等川崎寅太郎は各勤平均氣溫（華氏）四十七年　七月中仁川港の[illegible]一等大竹内鎮太郎は各勤平均最高氣溫（同）　七月中仁川港の[illegible]四等[illegible]叙し何も賞章を賜はる（十日發）　平均最高氣溫（同）　七月中仁川港の[illegible]平均最低氣溫（同）　七月中仁川港の[illegible]

雜報

●光岡右夫人（つゞき）

世には福德の三年目と云ふことあり趙重應も所謂有掛に入りたるか模範農場の枝手たる身を以て或る日統監府の國分某より至急出頭すべき旨を通じ來りたるが之れなん趙君が大ゝ福音に接したる時なりき即ち李完用内閣に入りて法部大臣の椅子に据はるべく内命に接したるなり趙君爭てか跳ね上りて喜ばざるを得べきを感懷胸を衝いて恰し嬉しさに泣きたりと謂ふも亦理なりけり斯くて彼れは一介の腰辨より一躍して韓内閣の大官となり昔しに異る大得意車上腰を撫で上げてエヘゝと濟ます身分となりたるを以て爰に其旨東京にある竹子の許に知らせたるに竹子は此の電報を受取るや之れ亦座敷の根太の抜けん程雀躍して喜びたりとか然れば直ちに趙君に祝詞を兼ねて一日も早く呼び迎へて前約の履行を迫る處ありたるに趙君も亦其の積りにして居る事なれば云ふが儘に旅費を送りて竹子を渡韓せしむる事となしぬ

去る程に其の後間も無く光子は其の父親と共に渡韓し曾て趙君が下宿し居りたる南山町の筑紫館に滯在して相變らずれ忍びの趙君と蜜より甘き情交を續け居りたるが素とこれ竹子は趙君の北の方に直るべき筈なるを以て筑紫館に滯在中も屢趙君に迫りて同居をなさんとしたるも一方趙君にありては親族其他の故障あり毛色こそ同じけれ日本の女と正房に入るゝことは斷じて親族が許さぬ事になしたるを以て茲に趙君と竹子は儘ならぬ浮世を嘆ずること稍久しかりしが竹子の父親が並大抵の男にあらじと見わて普通ならば最初に趙君との關係を責むべきであるに其の事無きのみか却て其の兒の淫奔を喜び趙君程の男を生取つたる功を賞すると云ふ有難去れば竹子が趙家に入るを許されざるを聞き一方ならず不承知を唱わ强談判を持ち掛けたるが前記國分某など仲裁する者ありて趙君の親族も辛つとの事に我慢することとなり遂に多年の本望を遂げて愛に光岡竹子は韓國法部大臣趙重應の北の方に成り濟まし天晴れ其の榮華に數段の光彩を增すこゝなりたるなり彼れが其の後太皇帝の聖斷を仰いで左夫人より右夫人に成り下りたるは少しく標榜を下げたる者なれど是れも太皇帝陛下の聖斷とあれば已むを得ざるこゝなるべし昔は降る西風秋加に袖はぬらさじと意方みて大和撫子の美しさを表はしたる醜業婦もありたりとか夫れと是れとは事異はれば茲に云ふ必要なけれど光岡竹子嬢こそ日韓親萬の人に業望さるべきなれ（れはれ）

●西部署長の諭達

西部警察署長鈴木警視は昨一昨の兩日に亘りて署内の統首（日本にていへば十戶長五十戶長の如き者）に對し左の如き注意事項を諭達したり

個人注意事項

一、邸宅に面したる道路橋梁の小破損あるり時は直に修理すること

一、邸宅に沿ひたる下水の塵芥は之を掃除し塵芥容器に入れ散亂せしめざること

一、汚泥は之を淺漬し衛生上無害の地に取棄つること

一、道路は毎日朝夕二回清潔に掃除すること但し不潔なるときは其の都度掃除すること

一、塵芥の容器は常に修理して不体裁ならざる樣注意すること

一、容器の周圍は殊に清潔になし置くこと

一、又容器小にして塵芥多きときは更に容器を增置すること

一、總て塵芥容器は往來の妨害ならざる場所に配置すること

一、邸宅に面したる道路に清水を撒布すること

一、道路に於て米餅搗、割木、鷄繩、捏土等其他の作業を爲さゝること

一、飼犬にあらざる野犬は之を撲殺すること

一、飲食物に關して其儘食するものは店賣りと行商とを問はず覆蓋を設け塵埃及蠅の附着を妨ぐこと

一、五歲未滿の兒童を道路に獨歩せしめざること又兒童に組褓裸體を爲さしめざること

一、道路に沿ひたる地上に新築家屋の取毀ち又は建增改築等を爲さんとするときは着手前必ず警察署へ届出づること

一、傳染病患者若くは其疑ひあるもの發生したるときは警察署若くは最寄巡査派出所へ速に届出づること

一、盜難に罹りたるときは即時警察署又は最寄巡査派出所に届出づること

一、道路又は道路より見透すべき場所に於て裸體又は襦袢裸體をなさゝること又は路傍に群集せしめざること

一、便所にあらざる場所に大小便を爲すべからざること

一、路上に於て小屋等に遊戲又は賭技に類する行爲を爲さしめざること

一、路上に面したる溝渠の覆蓋なきものは直に取片付くること

●怪しき美人

△本町秋山商店にて反物を騙取せんとす▽

昨日午後二時半頃本町一丁目郵便局前の呉服店秋山商店店員一年頃十八九とも見ゆる女入り來りて自分は花月の仲居貞子と云ふ者なれ一人此れと選りに選りたる后ち價格約九十圓餘の品物を一纏めになし此れだけ買求のたけれど一度花月に歸りたる後ち尚篤と他の仲間にも見て貰ひたければ一先づ花月に持ち歸りたる上必ず買求ひべしと云ひ殘天風日には邸宅に面したる道路に清水を撒布すること

道路に於て米餅搗、割木、鷄繩、捏土等其他の作業を爲さゝること

飼犬にあらざる野犬は之を撲殺すること

飲食物に關して其儘食するものは店賣りと行商とを問はず覆蓋を設け塵埃及蠅の附着を妨ぐこと

五歲未滿の兒童を道路に獨歩せしめざること又兒童に組褓裸體を爲さしめざること

道路に沿ひたる地上に新築家屋の取毀ち又は建增改築等を爲さんとするときは着手前必ず警察署へ届出づること

傳染病患者若くは其疑ひあるもの發生したるときは警察署若くは最寄巡査派出所へ速に届出づること

盜難に罹りたるときは即時警察署又は最寄巡査派出所に届出づること

道路又は道路より見透すべき場所に於て裸體又は襦袢裸體をなさゝること又は路傍に群集せしめざること

便所にあらざる場所に大小便を爲すべからざること

路上に於て小屋等に遊戲又は賭技に類する行爲を爲さしめざること

路上に面したる溝渠の覆蓋なきものは直に取片付くること

反物を騙取せんとす▽

△本町秋山商店にて

●郵便物紛失

先きに南大門より京城局の間に於て水原より送り來たる郵便物の中現金入りの行囊一個紛失して未だ其の行衛不明なることは前日の本紙に記したる如くなるが尚五月三十一日夜にも同樣現金入りの行囊紛失したるやにて右行囊には六百餘圓入りの者なる由京城局にては何故か之れを秘密に附し居れりと

●刑事を毆る

警視廳刑事巡査金澤權云ふが昨日午前二時頃壽町を通行の際深更にも係はらず放歌高吟して通行する四名の韓人あるにぞ刑事は其の心得を注意するや此の四人連れの者は何を小癪なことを吐かゝかと金刑事に難言を吐き尙其の身許を取調ふるに金刑事は大人しく捕繩手錠等を取掛けて見せたるも此れにては證據にならずなど大急張りに意張り散らし四人して金刑事に打つて蒐りたるも此方は無論其の位に遜易せず直ちに四人の中二名を引搦りたるも殘り二名は行方不明となりたりと引縛られたるは日本人倶樂部の雇人朴順明（三）李敬昌（二）と云ふものなりしと

●毆打

東大門外小安洞の者にて當時本町二丁目梅鶴方雇人江景（二〇）と云ふ韓人は先頃鎮市屋にて數名の日本人の爲めに毆打されたるを怨み其の仕返しをせん者と心掛け居りたる際旭町二丁目林宇吉（三〇）と云ふが憾かに其の一人ならんと誤解し一昨日林が通行中を見蒐けて突如毆打したるより林より訴へられたるが格別負傷にも至らざりしを以て設諭にて事濟み

●たゝ二の收入

追々蓙氣に向ふにつれて諸種の病氣の發生するは茲に言ふ迄もなき所なるがソレにつけても商賣繁昌なのは藥屋及び醫師等なるべしサテ世人も知らるゝ如く例の身には統監府の奏任官に擬ひ金筋金釦の洋服を着け大きな鞄を肩からトゲて腹の痛みに胸支なし一二ッと市中を馳け歩く貧藥屋子は昨今に至りてメッキリ其の數を減じ來りたるが何れも負けず劣らず藥を賣りたるの結果も道に廻り合ひ

●昨今兩年及本年五月の氣候

去月中仁川港の[illegible]

	晴天日數	雨天日數
四十年	七二	二四
四十一年	七七	二三
廿九年	八四	二一
廿年	七四	二一
廿一年	七六	二一
廿二年	七四	二一
廿三年	七四	二一
廿四年	七四	二一
廿五年	七四	二一
廿六年	七四	二一
廿七年	七四	二一
廿八年	七四	二一
廿九年	七四	二一
廿十年	七四	二一
廿十一年	七四	二一
廿十二年	七四	二一
廿十三年	七四	二一
廿十四年	七四	二一
廿十五年	七四	二一
廿十六年	七四	二一
廿十七年	七四	二一
廿十八年	七四	二一
廿十

西の宮の樂の述懷（十）

◎計略見事に外れる

二人のお客さいふは前にも申しました通り軍人さんでムいますから何方も浴びる程の大酒家、其處へ持つて行つて私等二人が大の飲み助と來て居りますから『此りや酒が無いア』『姐さん濟みませんがお銚子を』といふ嚊梅で後を〳〵と引きながらチカ〳〵切り上げる機樣が見わません其の中に若い方のお客さ迚の藝妓が何時消ゐるともなくれ坐敷に居なくなりましたので私はハヽアと感付きますと直ぐ今度は自分の番だナといふ氣が胸に浮びますと呼ん脈だと思はず太息を吐きましたが私のお相手をして居る方は飲み助の中でも取り分け飲み助ですから始終お銚子許り取り寄せてはグビリ〳〵とやらかして居て容易に御輿を上げそうにも見わませんから私は腹の中で如何も憑い最見のやうで何んだか濟まない氣もするが何も此れが大枚の借金といふのではなし高々四十五錢ありア宜いのですから菓子屋の拂は一時後の女が働いたので立て替ゐて貰ふとして私丈は相手が相手だから酔いつぶさして仕舞つて逃げられる丈逃げやうといふ氣を起し『サア旦那お酔を』と無暗と酒を勧めて居りますと先刻姿を隠した筈の藝妓が出て來ましてチ『お前さん旦那のお酒は宜い加減に切り上げて彼方へ連れ申すがいゝぢやありませんか』と一本參られましたので約束の手前仕方無しに『チー旦那隨分宜い顔色にお成り遊ばしたやうでムいますから御酒は此れでお納めとして兎も角彼方へ往かうぢやありませんか』と無理遣りに手をば取り別室へ案内しました、其の頃の仙台には東京の待合といつたやうな家がありませんからお客と藝妓が關係を付ければッても皆なお茶屋さんなのでムります、ですから吹き込みさへなりア其の家の女中さんが萬事呑み込んで甘く寸法を合せて呉れるやうに出來て居りますが之れは前にも申し上げました通り極くの秘密といふ一件なんですから若し見咎められはしまいかといふ氣が先に立つて何の位ハラ〳〵もんでしたか知れやあしません併し旨い工合に見咎められず御祝儀の外に餘分のお金を頂戴して十二時少し過に歸つて參りましたが其の途端『ねゑお前さん今夜位ヒヤ〳〵した晩はありやしない此れを思ふとお金といふものはないもんだワチ』『全くソレに相違ないよ約束だから仕方は無いと腕は据つて居ても其の場に臨むと立ち後れがして實は私は相手を酔い潰ぶさして逃げやうと思つたのさ』『仕度も私もそうだらうと感付いたから態々意コ地に催促をしてやつたのさ……』『人にばかり憂目を見せやうとしたつてそう旨くは問屋で卸さないから』『ダカラ私も往生したのさ併しまづ此れで借金を返せると思ふとチッとは諦めもつくといふものですテ』

公告

當會議所議員半數改選期ニ付來ル十一日ヨリ十三日ニ至ル三日間當會議所內ニ於テ毎日午前九時ヨリ午後四時迄選擧及ビ被選擧人名簿ヲ縱覽ニ供ス

明治四十一年六月十日

京城日本人商業會議所

諸衙官用御品調達

營業科目

紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料

各學校用品調達

井に委托販賣

東京 合資會社 アライアンス商會代理店
横濱 百七番 ビューメンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
京都 鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京 京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

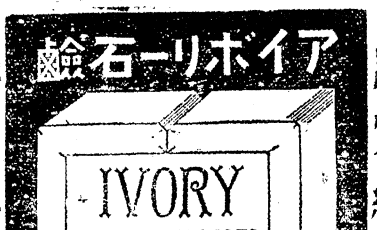
謹告

日本燒支那燒 煉瓦製造販賣

日本燒は有名なる平壤製にして日々の產出高二萬五千以上今回鐵道管理局と運賃低減の契約を致し如何程大口の御注文にても調達致べく値段も成行相場より安價に御契約可致候間多少に不拘御下命被下度願上候

京城旭町一丁目
平壤京谷煉瓦製造所代理店　益田商店

品質純良



浮石齒元祖

輸入元 東京 藤原京城支店
電話九九九番

●石鹼の撰擇は香色にあらず品質經良なるにあり
●アイボリー石鹼は香料着色を省畧せし純良の家庭向實用石鹼なり
●賣捌所は韓國各藥店小間物店にあり

京城水樂町二丁目

板材木生石材販賣

各竹類新荷着
座敷廻り諸材料取揃あり

京城大和町一丁目
江藤材木店

故陸軍々醫總監從三位勲一等男爵醫學博士 松本順先生親傳秘方

專用 高標

發賣本舗 香川縣高松市 龜井金光堂謹製

注意

近頃弊社の名義を悪用ひ各所に向りて染もの等の注文を受け取り甚しきに至ては誂物の品限を却せざるものあり返品注文の事に候然れども弊社は責任を帶て引換預かるべくこれなきに至ては不都合の事に候

洗張

花柳病專門
龍山 老松町 十字病院
帝國醫科大學選科卒業 望月憲磨

眼科部を設け最新式機械を設置し眼科全部の治療をなし又遺憾なき迄期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治漬に徵せられんことを

染物合資會社

日本韓國京城南山町二丁目伊藤組横通
電話（百五十四番）

第一回荷着

久留米絣
備后縞絣
布團地

一絹蚊帳類

一浴衣地

珍柄種々アリ
京城柳治町一丁目（電話二六二番）
卸商 唐川商店
龍山旭橋通 唐川支店

洋酒食料品專問

價格低廉品質精良
佛國ビーフラバン會社フラデ一

御料理席
一會
貳十錢
四拾錢

洋食
鰻丼
梅ノ家

京城大和町三丁目
電話七三五番

龜屋支店

京城本町一丁目
京城郵便局筋向
電話八二七番

日本官製上等煙草 ロンドンライフ

日本澤庵

味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

京城本町五丁目
（電話二五二番）

漬物問屋 大上商店

本店 仁川理事廳通（電話三二番）

大東產婆看護婦會

產婆 大島すみ
同 岡上君代

電話（三四）阿比留氏取次

赤藥町二丁目五十五番戶

靳新の法理と多年の經驗とに依り訴訟鑑定諸般代書事務に從事す

明治法律學校出身
增本好三郎事務所
京城本町一丁目（民團役所前）

原金旅館

京城南山町（電話一〇七番）

梅毒・痲病・リヨーマチ斯特効藥

定價十日分金五十錢十四日分九十五錢廿八日分一圓七十五錢五十六日分二圓卅五錢

韓國發賣元

釜山長手通金比羅前（電六六一番）
日清館 龜井亮之藥局

て地方より爲替若くは郵券にて御注文の節送費不要即時送藥▲はがきにて御注文あらば小包引換送藥す▲藥種相場表○諸醫藥卸賣歩合表郵券二錢送付あれ即送す

韓國京城 第一銀行

株式會社
營業用 電話 一一番
當直用 營業用三三一番
國庫生用度用 六二番 分橋所用 六一二番
本店 東京市日本橋區兜町
內地支店、出張所
大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區、新大阪町
韓國支店、出張所
仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、濟國安東縣
大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資貸 本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店 出張所
京城、龍山
仁川、木浦
釜山、元山
大阪、熊本
佐世保、鹿原
雞州、群山
韓國 日本
五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候
（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店

（十八銀行京城支店）

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北江堀通五丁目
支店 釜山仁川平壤鎭南浦安東縣

株式會社 第五十八銀行

京城支店
（電話五八番）

爲替取扱
東海道 二十七ケ所
山陽道 十三ケ所
南海道 二十五ケ所
北陸道 十ケ所
西海道 十三ケ所
山陰道 十ケ所
北海道 五ケ所
韓國 一ケ所

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告
電話十番

瀛船
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會

巴商店

京城南大門通
電話三〇六番
電話三九番

●釜山長崎門司神戸行 丸 七月五日後時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 月日後三時出
●釜山、元山清津、浦鹽行 七月一日
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 六月十八日後一時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月廿三日前五時出
●酒田、大沽、牛莊行 七月二日後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 後三時出
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行 七月一日
弘前丸
御乘船ノ際ハ秋風波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎可申候預り船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ
注意